

# 戦略的情報通信研究開発推進制度 追加ヒアリング説明資料

平成15年6月27日

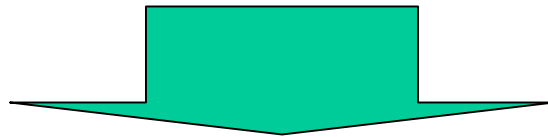
総務省

# 戦略的情報通信研究開発推進制度の役割(1)

研究者個人の発想や能力を発揮させる研究開発支援の手法

情報通信分野で必要とされる技術開発、産業界のニーズに基づく技術開発を対象

基礎研究から応用・開発研究までを幅広く推進



世界をリードする知的資産の創出、新たな情報通信サービスの創出、情報通信技術に関する国際標準化活動への一層の貢献を図る。

# 戦略的情報通信研究開発推進制度の役割(2)

## 課題採択の基本的考え方

**総務省が設定したプログラム毎の評価基準に従い、基礎、応用、開発の段階を問わず評価の結果優れた提案課題と認められる提案課題を採択し、資金配分を実施**

## 実施が期待される研究課題の例

### 【特定領域重点型研究開発(周波数資源開発)】

- ・電波の有効利用に資する研究開発
- ・周波数ひっ迫対策のため早期に確立するために必要とされる研究開発

### 【研究主体育成型研究開発(産学官連携先端技術開発)】

- ・技術の実用化、権利化技術の確立を目指す研究開発
- ・新規サービスや新規産業の創出等の波及効果が期待できる研究開発

### 【国際技術獲得型研究開発】

- ・国際機関への標準化提案による情報通信の高度化、国際標準の実現への貢献に資する研究開発

# 戦略的情報通信研究開発推進制度の役割(3)

## 優れた成果創出につながる仕組み

優れた研究成果を創出していくため、以下の事項について留意していくことが必要

- ・提案課題の研究領域における第一線の専門家による課題評価
- ・プログラム毎の特徴に応じた評価項目の設定
- ・事後評価結果の制度設計への反映
- ・優れた研究成果創出に向けた適切な進捗管理(継続評価の実施)
- ・審議会答申等を踏まえた重点分野、研究領域の設定、見直し 等

## 成果等の評価

投入予算と研究成果

- ・採択時評価における評価基準として、費用対効果に関する項目を導入
- ・1件当たりの配分金額については妥当なものとの認識
- ・競争的資金の額については総合科学技術会議の方針を踏まえて増額に努める

報道資料

平成 15 年 3 月 27 日  
総 務 省

情報通信分野における技術競争力の強化に向けた研究開発・標準化戦略について  
～我が国の発展、豊かな国民生活の実現に向けて～

総務省は、本日、情報通信審議会（会長：秋山 喜久）から諮問第 6 号「情報通信分野における技術競争力の強化に向けた研究開発・標準化戦略について」の答申を受けました。

1 審議の背景・経緯

情報通信技術の進展は、我が国の社会・経済活動全般に大きな変革をもたらすとともに、国際競争力の確保や新産業の育成等に貢献し、国の発展や豊かな国民生活を実現するために重要な役割を担うものと期待されています。これを実現するためには、技術力の源泉である研究開発や、その成果を広く普及させるために重要な役割を担う標準化を戦略的に推し進めていくことが重要です。

情報通信研究開発基本計画（第 3 版）（平成 12 年 2 月）の策定以後、IT 基本法の成立（平成 12 年 12 月）、総合科学技術会議の設置（平成 13 年 1 月）と第 2 期科学技術基本計画の決定（平成 13 年 3 月）などの情報通信や科学技術に対する政府全体の新たな取組があり、また、我が国の社会・経済状況の大きな変化や、標準化の重要性の高まりなどを踏まえた上、研究開発及び標準化の戦略の見直しを行うために、平成 14 年 8 月 7 日、「情報通信分野における技術競争力の強化に向けた研究開発・標準化戦略について」を情報通信審議会に対して諮問したものです。

情報通信審議会では情報通信技術分科会の下に研究開発・標準化戦略委員会を設置し、本件について精力的に審議を進め、本日、同審議会より答申があったものです。

2 答申の概要

1. 現状と基本認識

(1) 現状と課題

我が国の研究開発は世界的に高い水準にあるものの研究開発成果が必ずしも産業に結びついておらず、また、ユーザが高度化する製品やサービスを必ずしも使いやすとは思っていない現状があると指摘されています。また、昨今の情報通信のグローバル化の進展による競争の激化、厳しい経済状況による研究開発投資の削減に対応す

るため、研究開発にも一層の効率化や重点化が求められるとともに、これまで以上に産業に結びつけることが求められています。

## (2) 基本的考え方

以上のような課題を解決するための基本的な考え方として、強力なマネジメントや研究者が常にチャレンジできる環境を整備することにより、研究開発成果を増加させること、実証・実用化実験支援などにより成果を産業に結びつけることを挙げています。また、ユーザが利用して満足できる、作り手がやり甲斐を感じられることを重視したユーザ、作り手の視点に立った研究開発の推進を挙げています。

標準化においては、標準化の持つ公共的役割や国際貢献の視点にも留意しつつ、研究開発と一体的な標準化を推進することにより国際標準を獲得し、国際競争力を強化することが重要であるとしています。

## 2. 戦略

以上を踏まえ、今後我が国が取り組むべき技術課題と、その実現に向けた方策、標準化の強化の方策について下記のとおり提言がなされています。

### 「研究開発基本計画」

取り組むべき研究開発課題については、情報通信技術の基盤化、他の分野との融合が進んでいくと考えられることを踏まえ、従来の細分化をやめ大括り化する方向を打ち出しています。具体的にはアプリケーション、ネットワーク、ファンダメンタルの3つの領域について分野別の研究開発課題を選定しています。これに加え、分野横断的プロジェクトやユーザの視点で取り組むプロジェクト、基礎研究等の長期的視点で取り組むプロジェクトについて我が国が取り組むべき研究開発課題が取りまとめられています。

### 「研究開発実施戦略」

研究開発成果を国民生活の向上や産業の活性化につなげるため、産学官それぞれが取り組むべき役割について取りまとめています。具体的には、国による実証・実用化実験支援や最先端の実験機器の使用、CRL及びTAOが統合して平成16年4月より発足する予定の情報通信研究機構による基礎研究の強化やファンディングの充実、産学における人材流動化、ブランド価値の再生などが提言されています。

### 「標準化戦略」

我が国が得意なトップランナー技術にリソースを注力してスピード感のある標準化を行うこと、市場ニーズを踏まえて民間主体の標準化を促進すること、国際的な発言力を強化すること、発展するアジアの情報通信市場を意識してアジア

ア諸国、特に日中韓等との標準化活動の連携を強めていくこと、標準化の公共的役割や国際貢献にも配慮していくことについて提言されています。

### 3 答申を受けての措置

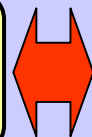
総務省では、本日の答申を踏まえ、研究開発及び標準化を推進していく予定です。

(連絡先)  
情報通信政策局 技術政策課 : 田口技術企画調整官、田中技術係長  
通信規格課 : 竹下課長補佐、戸田標準推進係長  
電話 : (代表) 03 - 5253 - 6111  
(内) 5727  
(直通) 03 - 5253 - 5727  
(FAX) 03 - 5253 - 5732  
(Eメール) it-strategy@soumu.go.jp

# 答申の概要

## 現状と基本認識

真に豊かな国民生活と国の発展のために  
研究開発の重要性  
国際普及等のための標準化の重要性



### 現状

研究開発成果が必ずしも産業に結びついていない  
情報通信技術が人に「優しくない」等

### 研究開発に取り組む基本的な考え

アウトプットの増加  
強力なマネジメント(MOT)、チャレンジできる環境等  
研究開発成果を国民生活の向上、産業化に結びつける  
市場での普及を目指した研究開発(プロトタイプトライアル)  
知的財産の活用等

### 研究開発の新たな視点

～人の安心と感動のために～  
人の感動、パーソナル化、人間の感性を重視等

### 研究開発と標準化との一体的取組み

## 戦略

### 研究開発基本計画

情報通信の基盤化、技術が他の分野との融合が進展し対象領域が拡大

細分化から大括り化へ

研究開発に、優しさ、安心、心の豊かさなど国民が豊かさを実感できる視点を取り入れる必要

国による基礎研究の下支え

分野別課題、分野横断的プロジェクト  
ユーザ視点のプロジェクト  
長期的視点のプロジェクト

### 研究開発実施戦略

国：全体のマネジメント、研究開発の多様性確保、プロジェクトの重点化、競争的資金拡充、実証・実用化実験支援等

情報通信研究機構：  
継続的な基礎研究、ファンディングの充実等

産学：  
産学官連携の推進、企業ブランドの再生、ライフスタイル提言等

### 標準化戦略

トップランナー技術等における研究開発と標準化の一体的推進

民間主体の標準化活動の促進

国際標準化活動における我が国の発言力の強化

日中韓等の連携によるアジアの標準化活動の強化

国が積極的に関与すべき標準化



# 取組むべき研究開発課題 (研究開発基本計画)

我が国として取組むべき研究課題

～ 分野別課題、 分野横断的プロジェクト、  
ユーザ視点のプロジェクト、 長期的視点のプロジェクト ～

